

基礎演習

第10回 プレゼンテーションの方法

メディア情報コース
平居 悠（ひらい ゆたか）

到達目標

- データ解析の基本的なスキルを身につける。
- 適切に文献を引用し、自分の意見を記述したレポートを作成できる。
- 調べてわかったことをわかりやすく他者にわかりやすく伝えることができる。

前回

- 第1回 授業の概要、自己紹介 (4/13)
- 第2回 天文学入門 138億年の宇宙の歴史 (4/20)
- 第3回 図書館ツアー、データベース検索 (4/27)
- 第4回 データ解析基礎 (1) プログラミング言語Python入門 (5/11)
- 第5回 データ解析基礎 (2) 基本統計量 (5/18)
- 第6回 データ解析実習 (1) 図の作成 (5/25)
- 第7回 データ解析実習 (2) データの解釈 (6/1)
- 第8回 レポートの作成 (1) 文章の読み方と要約、レポートの構成と表現 (6/8)
- 第9回 レポートの作成 (2) 著作権 (6/15)
- 第10回 プレゼンテーションの方法 (6/22)
- 第11回 発表準備 (1) 発表資料の作成 (6/29)
- 第12回 発表準備 (2) 発表練習 (7/6)
- 第13回 発表会 (7/13)

前回の目標

適切に文献を引用できるようになる。

前回学んだこと

著作権

文献の引用

研究不正

レポート課題

著作権とは

著作物の利用を許諾したり禁止したりすることで著作者が経済的損害から守られる権利

自分が創作したものを他人に勝手に利用されないための権利

個人の場合、死後70年まで保護される。

著作権法上の著作物

- 言語：書籍、論文、レポート、記事、小説など
- 音楽：歌詞、楽曲など
- 美術：絵画、書、彫刻、版画、漫画など
- 映像：映画、ビデオ、DVDなど
- その他：プログラム、振付、写真など

※アイデアそのものは著作物にあたらぬ

短い文章をそのまま引用する場合

引用部を「」でくくる。一字一句、資料の通り正確に記述する。

村田は、自転車運転中の携帯電話を用いた通話が運転パフォーマンスにおよぼす影響を調べ、「携帯電話通話運転では、ふらつきは片手運転と同程度であるが、ライト点灯への遅延反応が生じ、外界に対する注意の低下が見られる。」¹⁾ことを指摘している。

長い文章をそのまま引用する場合

前後を1行あけ、引用部を全体的にインデントする。一字一句、資料の通り正確に記述する。

自分で要約して引用する

必ずしも「」でくくる必要はないが、引用範囲がわかる表現上の工夫が必要

村田³⁾は、自転車運転中の携帯電話を用いた通話が運転パフォーマンスにおよぼす影響を調べ、ふらつきの度合いは単純な片手運転と同程度であるが、ライト点灯に対する遅延反応が生じることを指摘している。

代表的な引用方式：バンクオーバー方式

引用箇所、登場順に1), 2), 3)のように連番をふる。

村田は、自転車運転中の携帯電話を用いた通話が運転パフォーマンスにおよぼす影響を調べ、「携帯電話通話運転では、ふらつきは片手運転と同程度であるが、ライト点灯への遅延反応が生じ、外界に対する注意の低下が見られる。」¹⁾ことを指摘している。

代表的な引用方式：バンクーパー方式

レポート末尾の参考文献欄では番号順にリストを作成する。

参考文献

- 1) 文献 1
- 2) 文献 2
- 3) 文献 3

代表的な引用方式：ハーバード方式

引用箇所には、村田（2008）のように著者名と発行年を記載する。著者が複数の場合、村田・佐藤（2005）や村田他（2006）などとする。

代表的な引用方式：ハーバード方式

参考文献

伊藤太郎、資料名、2005

村田花子、資料名、2004

村田花子、資料名、2006

村田花子、資料名、2008a

村田花子、資料名、2008b

研究不正

- 捏造
- 改ざん
- 盗用
- その他、論文の二重投稿、不適切なオーサーシップなど

今回

- 第1回 授業の概要、自己紹介 (4/13)
- 第2回 天文学入門 138億年の宇宙の歴史 (4/20)
- 第3回 図書館ツアー、データベース検索 (4/27)
- 第4回 データ解析基礎 (1) プログラミング言語Python入門 (5/11)
- 第5回 データ解析基礎 (2) 基本統計量 (5/18)
- 第6回 データ解析実習 (1) 図の作成 (5/25)
- 第7回 データ解析実習 (2) データの解釈 (6/1)
- 第8回 レポートの作成 (1) 文章の読み方と要約、レポートの構成と表現 (6/8)
- 第9回 レポートの作成 (2) 著作権 (6/15)
- 第10回 プレゼンテーションの方法 (6/22)**
- 第11回 発表準備 (1) 発表資料の作成 (6/29)
- 第12回 発表準備 (2) 発表練習 (7/6)
- 第13回 発表会 (7/13)

今回の目標

プレゼンテーション
の準備をできるよう
になる。

今回学ぶこと

プレゼンテーションとは
プレゼンテーションの準備
ブレインストーミングとKJ法

今回学ぶこと

プレゼンテーションとは
プレゼンテーションの準備
ブレインストーミングとKJ法

プレゼンテーションとは？

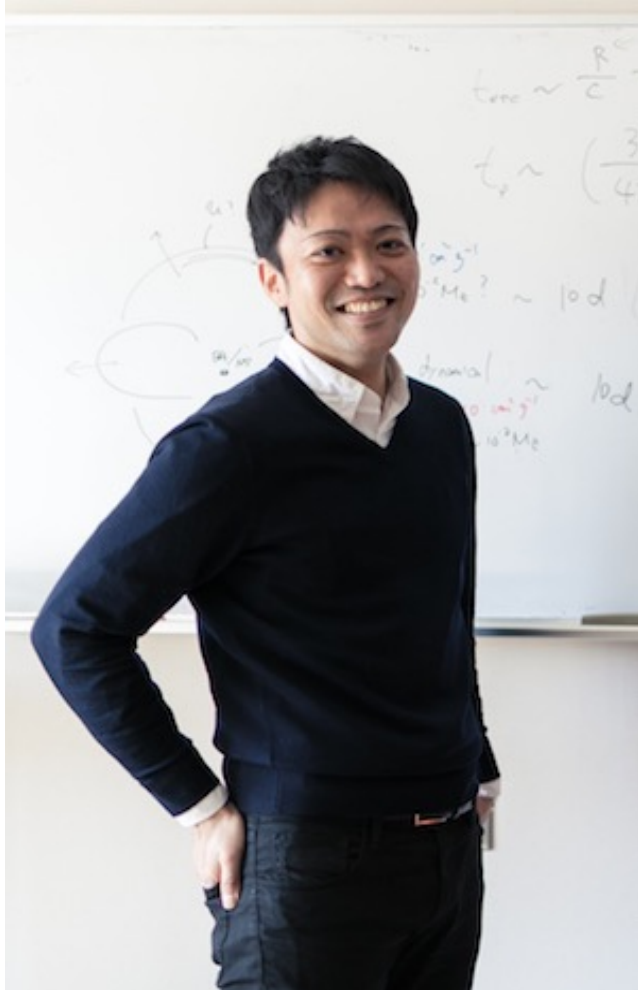


会議等で説明
を行い、相手に理解を求め
たり説得したりすること

アカデミックプレゼンテーションの構成

1. タイトル
2. 研究背景
3. 目的
4. 方法
5. 結果と考察
6. まとめ

プレゼンテーションが上手い研究者



田中雅臣先生
(東北大学教授)



村山齊先生 (東京大学/カリフォルニア大学バークレー校教授)

実際のプレゼンテーションをみてみよう！

今回学ぶこと

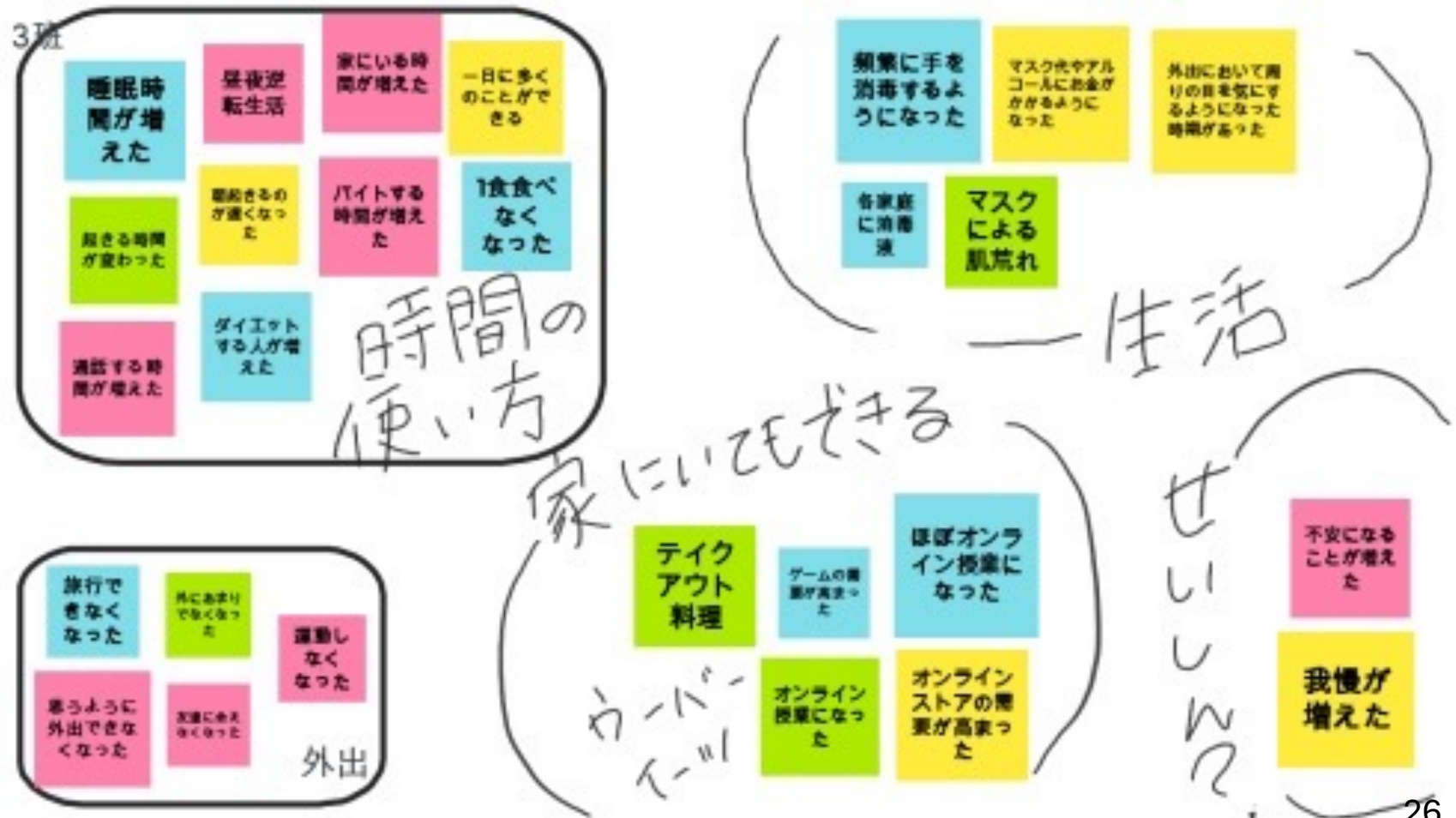
プレゼンテーションとは
プレゼンテーションの準備
ブレインストーミングとKJ法

ステップ1

ブレインストーミングを行う。

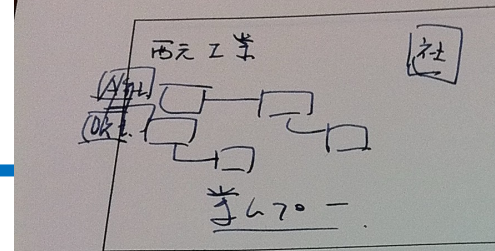
ステップ2

グループ化を行い、核となるメッセージを特定する。



ステップ3

コンピュータを使わず
にストーリーボードを
作成する。

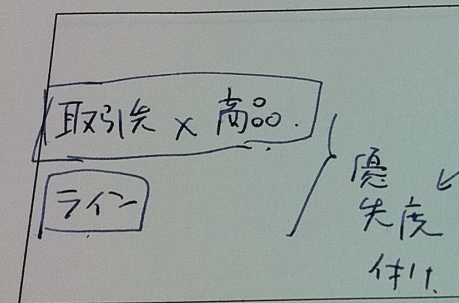


専門用語はなるべくNGで

ズ-11-性

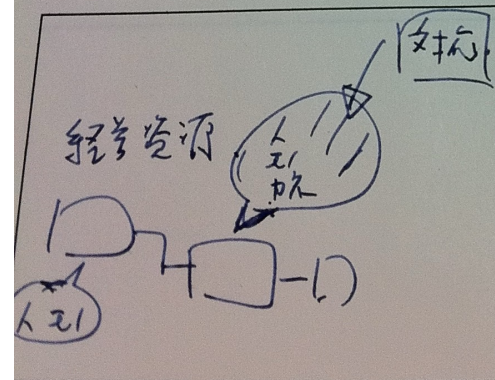
「A社」では「私」

「米倉工業」



→ 複数

パターン (前住地資料)

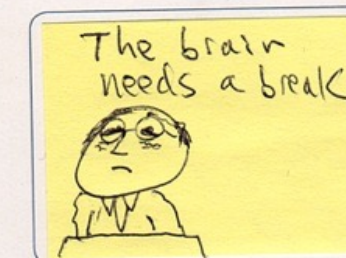
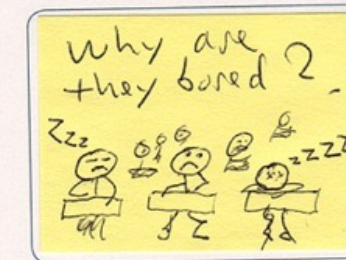
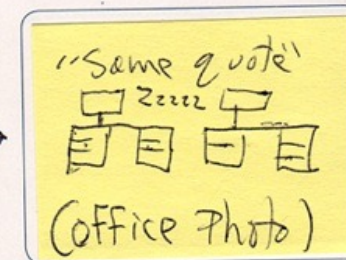
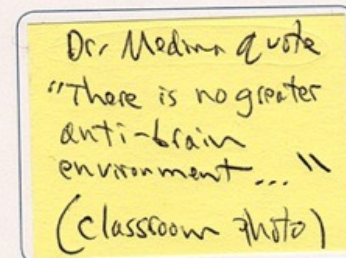
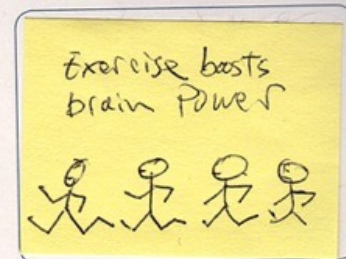


おなじく、経営社の方々

善後からいって

ステップ4

ビジュアルのラフ
スケッチを描く。



ステップ5

コンピュータ
を使ってス
ト
ーリーボード
を作成する。

The screenshot shows a Beamer presentation slide deck with 25 slides. The slides are numbered 1 through 25. The content includes:

- Slide 1: 基礎演習 (Basic Exercise) - メディア情報コース 平居 悠 (ひらい ゆたか)
- Slide 2: 前回の内容 (Previous Content) - 図書館・資料の検索, 論文検索, Google Scholar, NAS/ADS, IEEE Xplore
- Slide 3: 東北公益文科大学図書館 (Tohoku Gakuin University Library) - 開館時間, 通常期間, 平日 9:00-20:00, 土日祝 9:00-16:30
- Slide 4: 論文検索方法 (Literature Search Methods) - J-Stage, CiNii Research, JDreamIII
- Slide 5: 論文検索実習 (Google Scholar) - 学術論文や書籍等の学術資料に特化した検索を行う。
- Slide 6: 到達目標 (Learning Objectives) - データ解析の基本的なスキルを身につける, 適切に文献を引用し、自分の意見を記述したレポートを作成できる, 調べてわかったことをわかりやすく他者にわかりやすく伝えることができる。
- Slide 7: 授業計画 (Lesson Plan) - 第1回 授業の概要, 第2回 図書館ツアー, 第3回 データ解析基礎, 第4回 データ解析実践, 第5回 データ解析実践, 第6回 データ解析実践, 第7回 レポートの作成, 第8回 レポートの作成, 第9回 プレゼンテーションの作成, 第10回 発表準備, 第11回 発表準備, 第12回 発表準備, 第13回 発表
- Slide 8: 今日の内容 (Today's Content) - 借りました本の紹介, 身近な天体現象, 天文学研究の歴史, 宇宙の大きさを実感してみよう, 138億年の宇宙の歴史, 日本が関わる主な望遠鏡
- Slide 9: 今日の内容 (Today's Content) - 借りました本の紹介, 身近な天体現象, 天文学研究の歴史, 宇宙の大きさを実感してみよう, 138億年の宇宙の歴史, 日本が関わる主な望遠鏡
- Slide 10: 借りました本の紹介 (Introduction of Borrowed Books) - 借りました本, なぜその本を借りましたのか
- Slide 11: 今日の内容 (Today's Content) - 借りました本の紹介, 身近な天体現象, 天文学研究の歴史, 宇宙の大きさを実感してみよう, 138億年の宇宙の歴史, 日本が関わる主な望遠鏡
- Slide 12: 身近な天体現象 (Nearby Celestial Phenomena) - 月の満ち欠け, 潮の満ち引き, 月食・日食, 彗星, 流れ星
- Slide 13: 月の満ち欠け (Moon Phases) - Diagram showing the moon's phases and the sun's position.
- Slide 14: 月の満ち欠け (Moon Phases) - Diagram showing the moon's phases and the sun's position.
- Slide 15: 月の満ち欠け (Moon Phases) - Diagram showing the moon's phases and the sun's position.
- Slide 16: 日食の仕組み (Mechanism of Eclipses) - Diagram showing the sun, moon, and earth during an eclipse.
- Slide 17: 日食の仕組み (Mechanism of Eclipses) - Diagram showing the sun, moon, and earth during an eclipse.
- Slide 18: 日食の仕組み (Mechanism of Eclipses) - Diagram showing the sun, moon, and earth during an eclipse.
- Slide 19: 日食の仕組み (Mechanism of Eclipses) - Diagram showing the sun, moon, and earth during an eclipse.
- Slide 20: 日食の仕組み (Mechanism of Eclipses) - Diagram showing the sun, moon, and earth during an eclipse.
- Slide 21: 日食の仕組み (Mechanism of Eclipses) - Diagram showing the sun, moon, and earth during an eclipse.
- Slide 22: 彗星 (Comets) - Diagram showing a comet's orbit around the sun.
- Slide 23: 彗星 (Comets) - Diagram showing a comet's orbit around the sun.
- Slide 24: 彗星 (Comets) - Diagram showing a comet's orbit around the sun.
- Slide 25: 彗星 (Comets) - Diagram showing a comet's orbit around the sun.

今回学ぶこと

プレゼンテーションとは
プレゼンテーションの準備
ブレインストーミングとKJ法

ブレインストーミングとは？

アイデアを自由に出し、より深く問題の本質に迫る思考法

ブレインストーミングの4つのルール

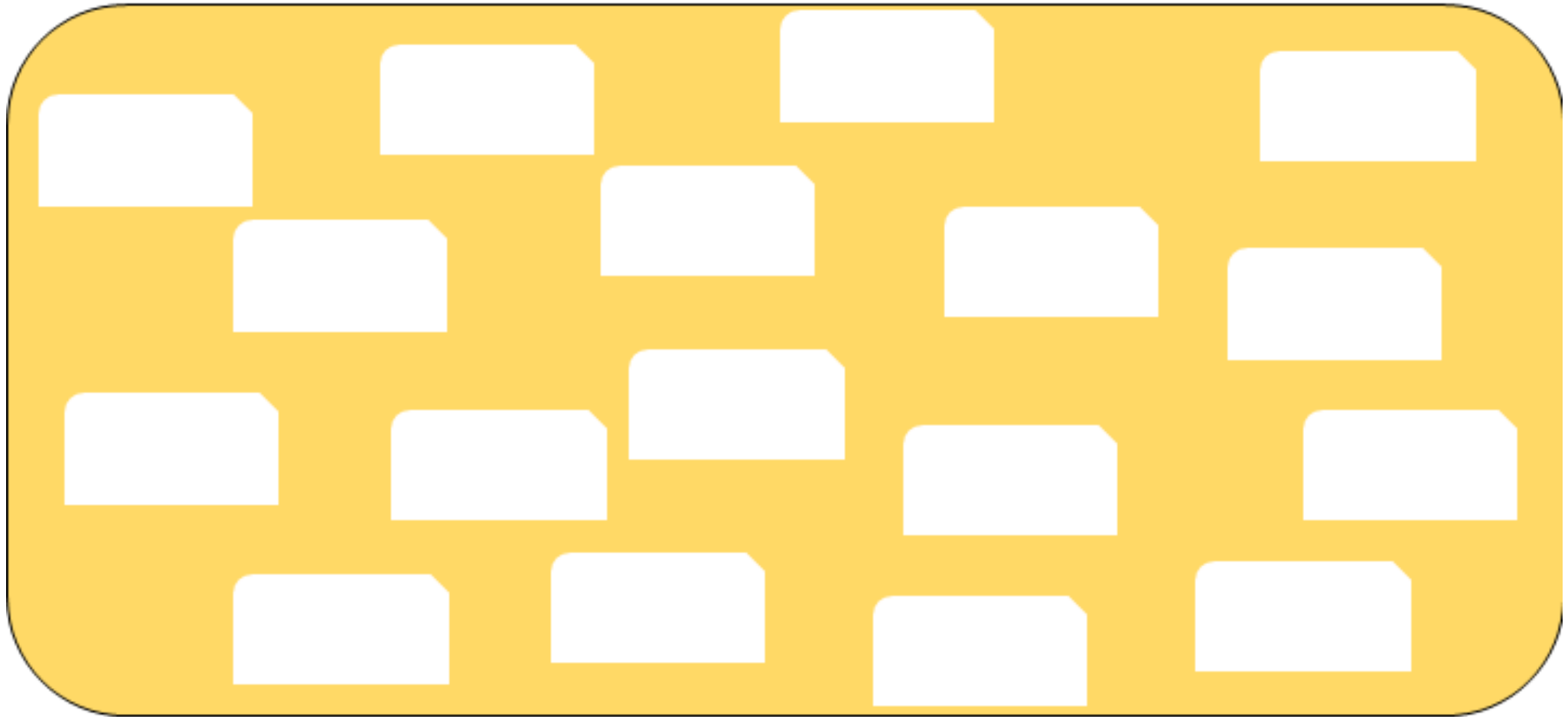
1. アイデアに対して批判・否定しない。
2. 変わったアイデアを歓迎する。
3. 質より量を重要視する。
4. アイデアをまとめる。

KJ法

カード上の紙に1つ1つ情報を記し、そのカードを並び替えたり、グループ化したりすることで情報を整理する。

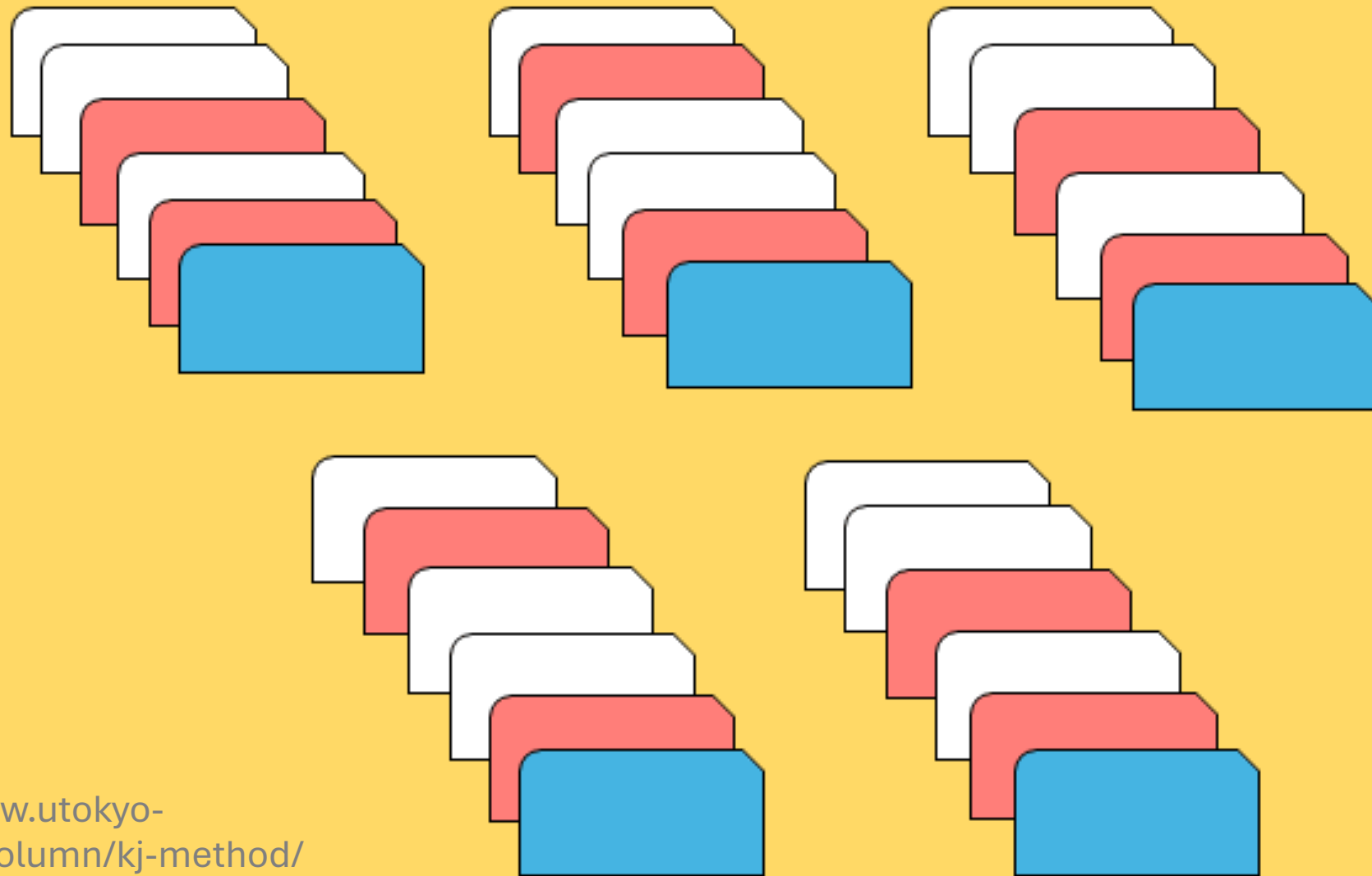
KJ法の手順

ステップ① アイデアの書き出し

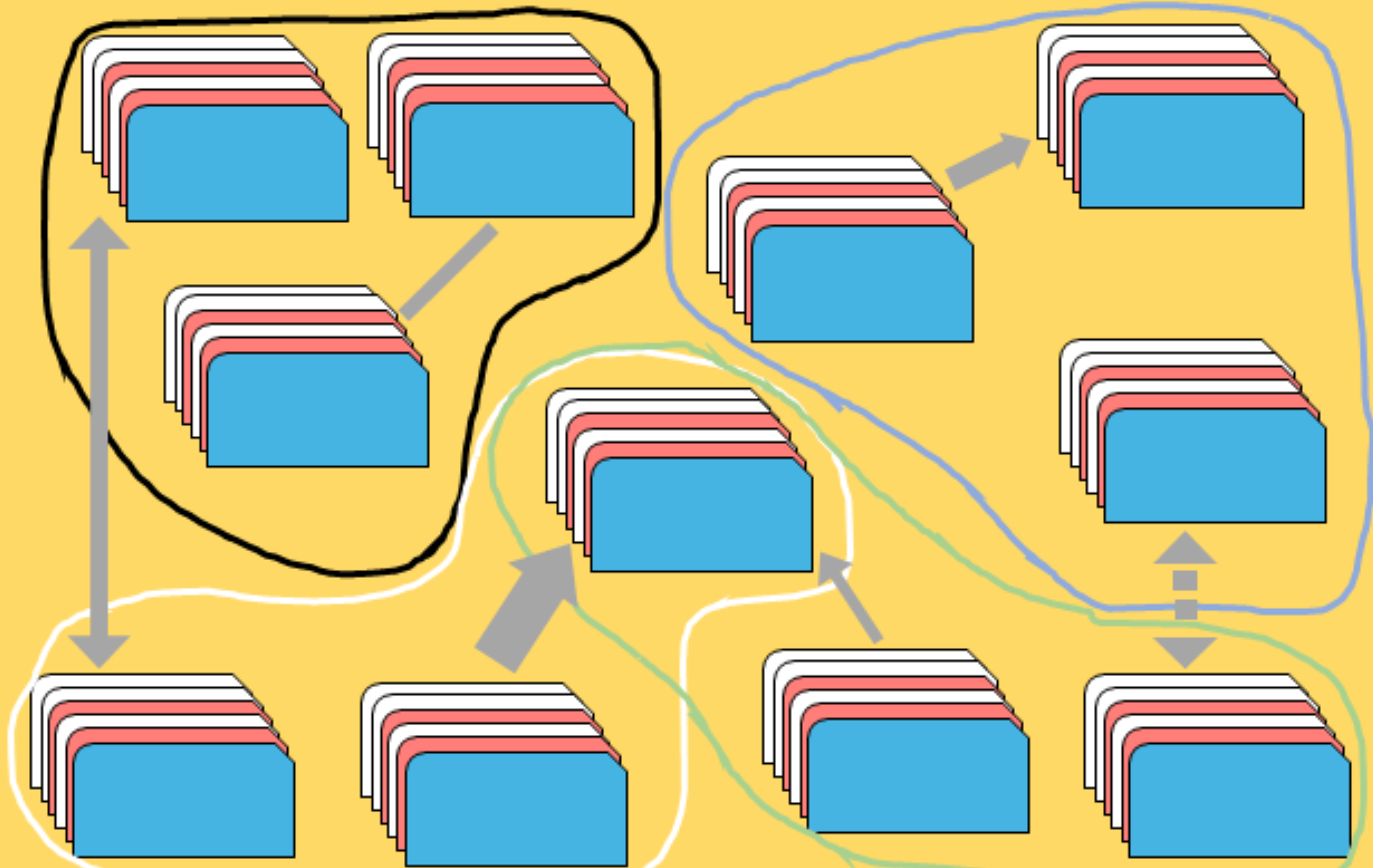


- ・ブレインストーミングで収集した情報をカード化する
- ・1つの情報に複数の要素が含まれる場合、個別のカードに分ける

ステップ②アイデアのグルーピング



ステップ③関係性の図解化



ステップ4 文章化

KJ法の注意点

- 参加者全員の同意を得ながら進める。
- 無理やりグループ化しない。
- 文章化まで行う。

ブレインストーミングをやってみよう！

第13回の発表会で、第4～7回までのデータ解析結果をプレゼンテーションする。

発表時間：20分

ブレインストーミングをやってみよう！

発表スライドに載せるべき図とプレゼンテーションの核となるメッセージを決める。

ブレインストーミングの手順

グループごとにファシリテーター
(進行役) を決める。

ブレインストーミングの手順

1. プレゼンテーションに載せるべきだと思う図を一人最低3つ付箋に書く。
2. その図からわかることを色つきのペンで付箋に書く。

ブレインストーミングの手順

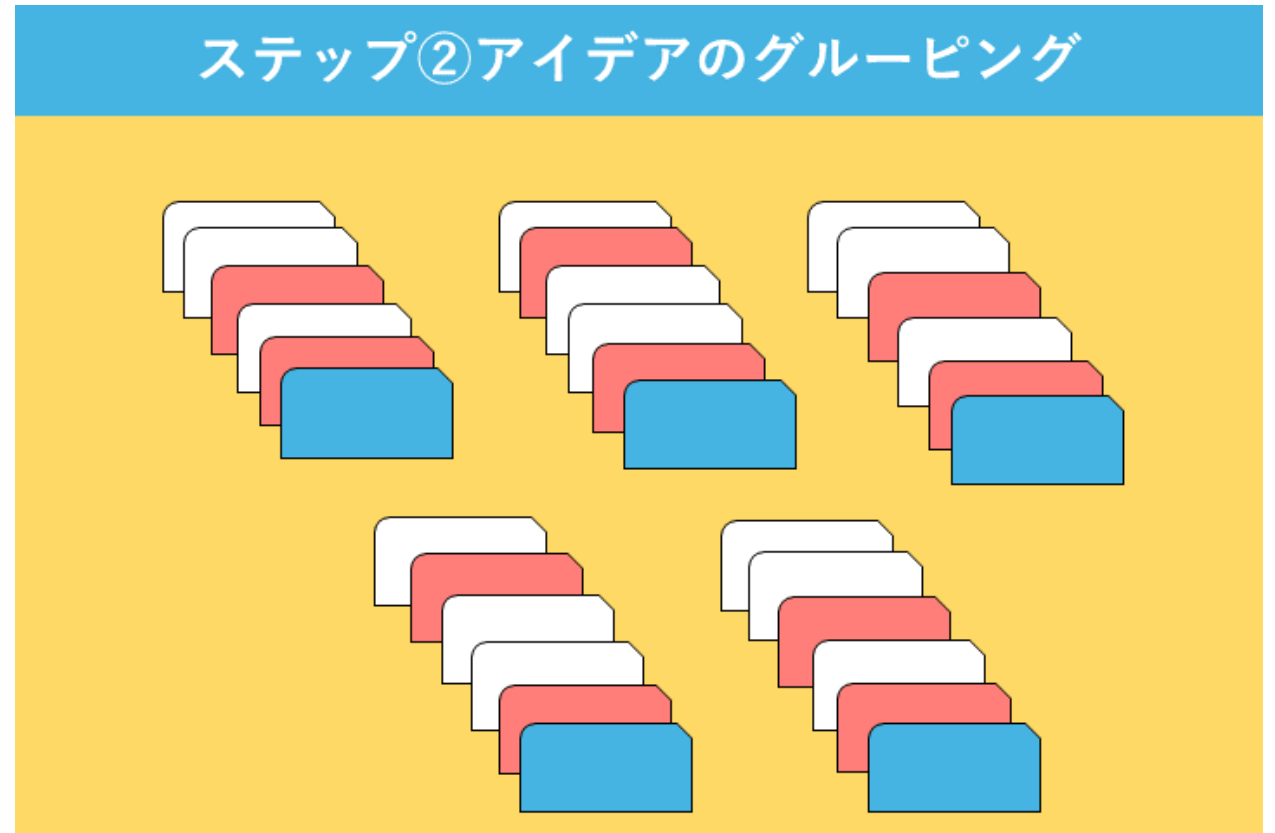
書いた内容についてグループ内で発表する。

ブレインストーミングの手順

ファシリテーターは付箋を回収し、ホワイトボードに貼り付ける。

ブレインストーミングの手順

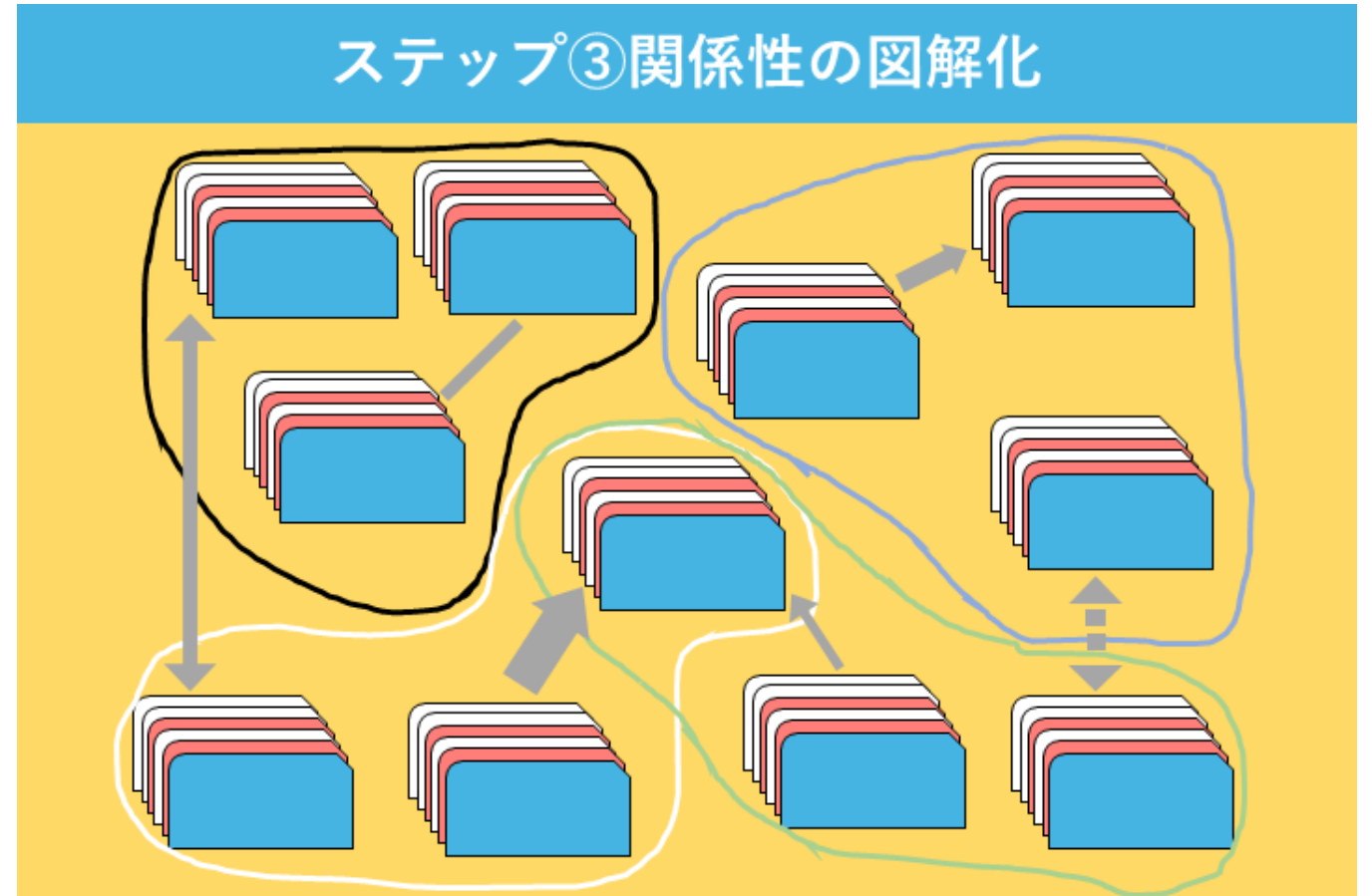
話し合いながら、
貼り付けた付箋を
グループ化する。



<https://www.utokyo-ipc.co.jp/column/kj-method/>

ブレインストーミングの手順

グループ化した内容の関連をホワイトボードに書き込む。



<https://www.utokyo-ipc.co.jp/column/kj-method/>

ブレインストーミングの手順

プレゼンテーションで核となる問いを明確化し、ホワイトボードに書く。

「何が言いたいのか？」

「なぜそれが重要なのか？」

ブレインストーミングの手順

ブレインストーミングの結果、プレゼンテーションで伝える予定の核となるメッセージと選択した図について他のグループに発表する。

今回

- 第1回 授業の概要、自己紹介 (4/13)
- 第2回 天文学入門 138億年の宇宙の歴史 (4/20)
- 第3回 図書館ツアー、データベース検索 (4/27)
- 第4回 データ解析基礎 (1) プログラミング言語Python入門 (5/11)
- 第5回 データ解析基礎 (2) 基本統計量 (5/18)
- 第6回 データ解析実習 (1) 図の作成 (5/25)
- 第7回 データ解析実習 (2) データの解釈 (6/1)
- 第8回 レポートの作成 (1) 文章の読み方と要約、レポートの構成と表現 (6/8)
- 第9回 レポートの作成 (2) 著作権 (6/15)
- 第10回 プレゼンテーションの方法 (6/22)**
- 第11回 発表準備 (1) 発表資料の作成 (6/29)
- 第12回 発表準備 (2) 発表練習 (7/6)
- 第13回 発表会 (7/13)

今回の目標

プレゼンテーション
の準備をできるよう
になる。

今回学んだこと

プレゼンテーションとは
プレゼンテーションの準備
ブレインストーミングとKJ法

次回

- 第1回 授業の概要、自己紹介 (4/13)
- 第2回 天文学入門 138億年の宇宙の歴史 (4/20)
- 第3回 図書館ツアー、データベース検索 (4/27)
- 第4回 データ解析基礎 (1) プログラミング言語Python入門 (5/11)
- 第5回 データ解析基礎 (2) 基本統計量 (5/18)
- 第6回 データ解析実習 (1) 図の作成 (5/25)
- 第7回 データ解析実習 (2) データの解釈 (6/1)
- 第8回 レポートの作成 (1) 文章の読み方と要約、レポートの構成と表現 (6/8)
- 第9回 レポートの作成 (2) 著作権 (6/15)
- 第10回 プレゼンテーションの方法 (6/22)
- 第11回 **発表準備 (1) 発表資料の作成 (6/29)**
- 第12回 発表準備 (2) 発表練習 (7/6)
- 第13回 発表会 (7/13)